

白ウコンの植付時期による収量の違い

【題名の補足】 白ウコンの植付適期について検討しました。

背景・目的

- 「白ウコン」は、ウコンの仲間で、根茎に含まれる成分が機能性食品や化粧品などに利用されています。
- 県内ではH29年から本格的に栽培されていますが、種芋を植える適期はいつ頃なのかよく分かっていませんでした。
- そこで、種芋の植付時期と地下部収量との関係を検討しました。

成果の内容

- 収量の点から、白ウコンの植付時期は3月中旬～5月中旬が適しています。
- 6月下旬に植付した場合、収量は著しく減収しました。

表 植付時期と地下部収量の調査結果

植付時期	1株あたり収量				10a推定収量
	主根茎	側根茎	根	地下部計	
3月中旬	194.4 g	315.6 g	89.6 g	599.6 g	2,043 kg
4月中旬	201.8 g	359.1 g	101.2 g	662.2 g	2,379 kg
5月中旬	175.5 g	321.9 g	118.4 g	615.8 g	2,281 kg
6月下旬	18.8 g	32.0 g	17.6 g	68.3 g	225 kg

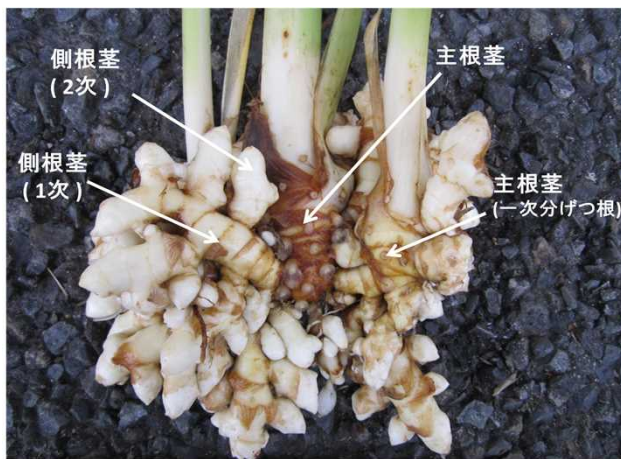
※ 生重。調査株数36。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 種芋の植付を適期に行うことで、収量の安定化、増加につながります。



(図): 生育最盛期の白ウコン地上部



(図): 収穫期の白ウコン地下部

- 普及対象地域 県内全域

留意点

- 小林市野尻町で試験した結果です。地域の気象条件に合わせて植付時期を調整します。

関連研究成果カード：平成30年後期 番号97、

関連事業名：生業として成り立つ薬用作物の産地化に向けた栽培・加工技術の確立(県単)

研究期間：平成29年～30年